

食品安全委員会の運営について（令和5年7月～令和5年9月）

1. 食品安全委員会の開催

7月：904回・905回・906回・907回（4回）

（1）食品健康影響評価の要請案件（11品目、1案件）

| | |
|----------------|--|
| 農薬（4品目） | <ul style="list-style-type: none"> ・アセフェート（7/18） ・キノフメリン（7/18） ・ホスチアゼート（7/18） ・メタミドホス（7/18） |
| 動物用医薬品（2品目） | <ul style="list-style-type: none"> ・マルボフロキサシンを有効成分とする豚の注射剤（フォーシルS）（7/11） ・タイロシン（7/18） |
| プリオン（1案件） | <ul style="list-style-type: none"> ・ベルギーから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓（7/4） |
| 遺伝子組換え食品等（3品目） | <ul style="list-style-type: none"> ・チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ（DAS1131）（食品）（7/11） ・チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ（DAS1131）（飼料）（7/11） ・JPBL011株を利用して生産されたα-アミラーゼ（7/11） |
| 飼料添加物（2品目） | <ul style="list-style-type: none"> ・2-デアミノ-2-ヒドロキシメチオニンイソプロピルエステルを飼料添加物として使用した家畜に由来する食品の安全性（7/18） ・2-デアミノ-2-ヒドロキシメチオニンイソプロピルエステル（7/18） |

（2）食品健康影響評価の結果通知案件（7品目）

| | |
|---------|--|
| 農薬（3品目） | <ul style="list-style-type: none"> ・プロチオホス（7/11） <u>ADIを0.0027 mg/kg 体重/日、ARfDを0.05 mg/kg 体重と設定</u> ・フロニカミド（7/18） <u>ADIを0.073 mg/kg 体重/日、一般の集団に対するARfDを3 mg/kg 体重、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対するARfDを1 mg/kg 体重と設定</u> ・ポリオキシンD亜鉛塩（7/18） <u>ADIを7.2 mg/kg 体重/日と設定し、ARfDは設定する必要がないと判断</u> |
|---------|--|

| | |
|---------------------|--|
| 農薬及び動物用医薬品 (1品目) | <ul style="list-style-type: none"> ・エマメクチン安息香酸塩 (7/4) <u>ADI を 0.0005 mg/kg 体重/日 (遊離塩基換算)、ARfD を 0.015 mg/kg 体重 (遊離塩基換算) と設定</u> |
| 動物用医薬品 (1品目) | <ul style="list-style-type: none"> ・ヒドロコルチゾン (7/11) <u>「暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について」の3. (3) ①に該当する成分であると判断され、現行のリスク管理の範囲で使用される限りにおいて、食品健康影響は無視できる程度と考えられる。</u> |
| 飼料添加物 (1品目) | <ul style="list-style-type: none"> ・<i>Trichoderma reesei</i> JPTR003 株を用いて生産されたムラミダーゼ濃縮・精製物を原体とする飼料添加物 (7/4) <u>飼料添加物として適切に使用される限りにおいて、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えられる。</u> |
| 薬剤耐性菌 (1品目) | <ul style="list-style-type: none"> ・マルボフロキサシンを有効成分とする豚の注射剤 (フォーシル S) (7/25) <u>評価対象動物用医薬品であるフルオロキノロン系抗菌性物質が、牛及び豚に使用された結果としてハザードが選択され、牛及び豚由来食品を介して人がハザードにばく露され、人用抗菌性物質による治療効果が減弱又は喪失する可能性は否定できず、リスクの程度は中等度であると考えた。</u> <u>なお、薬剤耐性菌については、現時点では詳細な科学的知見や情報が必ずしも十分とは言えず、また、リスク評価の手法についても国際的にも十分確立されていないと考えられるため、国際機関における検討状況等を含め新たな科学的知見・情報の収集が必要である。</u> |

(3) その他

- ・令和4年食中毒発生状況の概要について報告 (7/4)
- ・令和5年度食品安全確保総合調査課題 (案) について、案のとおり決定 (7/11)
- ・食品安全委員会食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保総合調査のプログラム評価結果 (案) について、案のとおり決定 (7/25)
- ・令和5年度食品健康影響評価技術研究二次公募課題 (案) について、案のとおり決定 (7/25)

8月：第908回・909回・910回 (3回)

(1) 食品健康影響評価の要請案件 (4品目)

| | |
|--------------|---|
| 動物用医薬品 (1品目) | <ul style="list-style-type: none"> ・牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス感染症・牛アデノウイルス感染症混合生ワクチン (“京都微研”, カーフウィン6) (8/8) |
| 遺伝子組換え食品等 | <ul style="list-style-type: none"> ・JPAo006 株を利用して生産されたリパーゼ (8/29) |

| | |
|-------|--|
| (3品目) | <ul style="list-style-type: none"> ・チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ (DP910521) (食品) (8/29) ・チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ (DP910521) (飼料) (8/29) |
|-------|--|

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件 (4品目)

| | |
|--------------|--|
| 農薬 (2品目) | <ul style="list-style-type: none"> ・イソピラザム (8/1) <u>ADIを0.055 mg/kg体重/日、ARfDを0.3 mg/kg体重と設定</u> ・プロシミドン (8/1) <u>ADIを0.035 mg/kg体重/日、一般の集団に対するARfDを0.3 mg/kg体重、妊婦又は妊娠している可能性のある女性に対するARfDを0.035 mg/kg体重と設定</u> |
| 動物用医薬品 (1品目) | <ul style="list-style-type: none"> ・牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス感染症・牛アデノウイルス感染症混合生ワクチン (“京都微研”, カーフウイン6) (8/8) <u>食品安全基本法第11条第1項第2号の「人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるとき」に該当すると認められる。</u> |
| 薬剤耐性菌 (1品目) | <ul style="list-style-type: none"> ・ツラスロマイシン及びケトプロフェンを有効成分とする牛の注射剤 (ドラクシン KP) (8/1) <u>評価対象動物用医薬品が、牛に使用された結果としてハザードが選択され、牛由来の畜産食品を介して、人がハザードにばく露され、人用抗菌性物質による治療効果が減弱又は喪失する可能性は否定できない。そのリスクを推定した結果、リスクの程度は低度であると考えた。</u> <u>なお、薬剤耐性菌については、現時点では詳細な科学的知見や情報が必ずしも十分とはいえず、また、リスク評価の手法についても国際的にも十分確立されていないと考えられるため、国際機関における検討状況等を含め新たな科学的知見・情報の収集が必要である。</u> |

(3) その他

- ・食品安全委員会の運営について (令和5年4月から6月まで) 報告 (8/8)
- ・「食品健康影響評価技術研究及び食品安全確保総合調査の優先実施課題 (令和6年度 (案))」について、案のとおり決定 (8/29)

9月: 第911回・912回、913回、914回 (4回)

(1) 食品健康影響評価の要請案件 (10品目、1案件)

| | |
|----------|---|
| 農薬 (4品目) | <ul style="list-style-type: none"> ・カルタップ、チオシクラム及びベンスルタップ (9/5) ・ジアフェンチウロン (9/5) ・フェンプロピジン (9/5) |
|----------|---|

| | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ブプロフェジン (9/5) |
| 農薬及び動物用医薬品 (1品目) | <ul style="list-style-type: none"> ・シフルトリン (9/5) |
| 動物用医薬品 (3品目) | <ul style="list-style-type: none"> ・モサプリド (9/5) ・アセトアミノフェンを有効成分とする豚の経口投与剤 (アレシジャー30) (9/5) ・アセトアミノフェンを有効成分とする豚の経口投与剤 (ピレキシシ 10%) (9/5) |
| 微生物・ウイルス (1案件) | <ul style="list-style-type: none"> ・乳及び乳製品の成分規格等に関する省令の改正について (9/12) |
| 飼料添加物 (1品目) | <ul style="list-style-type: none"> ・カシューナッツ殻液 (9/5) |
| 食品衛生法第13条第3項の規定に基づき、人の健康を損なうおそれのないことが明らかであるものとして厚生労働大臣が定める物質 (1品目) | <ul style="list-style-type: none"> ・アナカルド酸 (9/5) |

(2) 食品健康影響評価の結果通知案件 (6品目)

| | |
|------------------|--|
| 農薬及び動物用医薬品 (1品目) | <ul style="list-style-type: none"> ・シフルトリン (9/12) <u>シフルトリン及び beta-シフルトリンの ADI を 0.023 mg/kg 体重/日、ARfD を 0.023 mg/kg 体重と設定</u> |
| 動物用医薬品 (5品目) | <ul style="list-style-type: none"> ・モサプリド (9/5) <u>食品安全基本法第11条第1項第2号の「人の健康に及ぼす悪影響の内容及び程度が明らかであるとき」に該当すると認められる。</u> ・マルボフロキサシン (9/5) <u>ADI を 0.004 mg/kg 体重/日と設定</u> ・ツラスロマイシン (9/19) <u>ADI を 0.015 mg/kg 体重/日と設定</u> ・アセトアミノフェンを有効成分とする豚の経口投与剤 (アレシジャー30) (9/19) <u>本製剤が動物用医薬品として適切に使用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えた。</u> |

| | |
|--|--|
| | <p>・アセトアミノフェンを有効成分とする豚の経口投与剤（ピレキシシ 10%）（9/19）</p> <p><u>本製剤が動物用医薬品として適切に使用される限りにおいては、食品を通じて人の健康に影響を与える可能性は無視できる程度と考えた。</u></p> |
|--|--|

(3) その他

- ・食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針[動物試験で得られた用量反応データへの適用]の一部を改正する件（案）について、案のとおり改正（9/12）
- ・香料ワーキンググループ及びぶどう酒の製造に用いる添加物に関するワーキンググループについて、食品安全委員会専門調査会等運営規程第6条第2項の規程に基づき廃止を決定（9/26）

2. 専門調査会等の運営（全 24 回）

| 専門調査会等名 | 開催回数 | 調査審議案件 |
|-----------|------|--|
| 添加物 | 1 回 | ・メチルセルロース（9/7） |
| 農薬第一 | 2 回 | ・1, 3-ジクロロプロペン（8/2） ・1, 3-ジクロロプロペン、イミダクロプリド（9/11） |
| 農薬第二 | 2 回 | ・プロフラニリド（7/26） ・フェニトロチオン（9/14） |
| 農薬第四 | 1 回 | ・発芽スイートルーピン抽出たんぱく質（8/10） |
| 農薬第五 | 1 回 | ・キノフメリン（8/28） |
| 動物用医薬品 | 2 回 | ・ケトプロフェン、ツラスロマイシン及びケトプロフェンを有効成分とする牛の注射剤（ドラクシン KP）、フェノキシエタノール（7/31） ・プロフラニリドを有効成分とする鶏舎噴霧剤（リブケア FL）、フェノキシエタノール（9/14） |
| 微生物・ウイルス | 1 回 | ・アニサキスのリスクプロファイル（9/4） |
| プリオン | 3 回 | ・ベルギーから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓、牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直し（SRM の範囲）（8/3） ・ドイツから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓（9/7） ・スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓（9/29） |
| 遺伝子組換え食品等 | 3 回 | ・チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ（DAS1131）（食品・飼料）、JPBL011 株を利用して生産された飼料添加物 α -アミラーゼ（7/27） ・遺伝子組換え食品等の安全性評価基準改正の検討（8/21） ・チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP910521）（食品・飼料）、JPAo006 株を利用して生産されたリパーゼ（9/20） |
| 肥料・飼料等 | 3 回 | ・3-ニトロオキシプロパノール、3-ニトロオキシプロパ |

| | | |
|-------------------------|----|--|
| | | ノールを有効成分とする飼料添加物、タイロシン、マルボフロキサシン、マルボフロキサシンを有効成分とする豚の注射剤（フォーシル S）（8/7） ・サルファ剤（9/11） ・ジニトルミド（9/11） |
| 薬剤耐性菌に関するワーキンググループ | 2回 | ・薬剤耐性（AMR）対策アクションプランに係る食品安全委員会行動計画の策定（7/24） ・家畜に使用するアミノグリコシド系抗生物質（7/24、9/27） |
| 評価技術企画ワーキンググループ | 2回 | ・疫学研究で得られた用量反応データへのベンチマークドーズ法の適用（8/3） ・疫学研究で得られた用量反応データへのベンチマークドーズ法の適用（9/6） |
| 有機フッ素化合物（PFAS）ワーキンググループ | 1回 | ・有機フッ素化合物（PFAS）（9/28） |

3. 意見交換会の開催等

（1）講師派遣（全6回、うち委員6回）

| 開催日 | 講演会名 | 依頼者 | 対象者 |
|------|--|--------------|----------------------|
| 7/20 | 食の安全推進交流会（香西委員） | 山形県 | 食品衛生協会会員、一般消費者 |
| 7/27 | 食肉学術フォーラム委員会（山本委員長） | 日本食肉消費総合センター | 食肉学術フォーラム委員 |
| 8/10 | 岡崎市食品衛生月間特別講演会（香西委員） | 岡崎市 | 食品関係事業者、一般消費者 |
| 8/25 | 食の安全・安心講演会 ～みんなで取り組む、食の安全・安心～ 「食品アレルギーについて」（協委員） | 佐賀県 | 一般消費者 |
| 8/26 | 京都府保険医協会市民公開講演会（協委員） | 京都府保険医協会 | 一般消費者 |
| 9/28 | 食生活ジャーナリストの会勉強会（山本委員長） | 食生活ジャーナリストの会 | 食生活ジャーナリストの会会員、一般消費者 |

（2）学会講演（全1回）

| 開催日 | 学会名 | 内容 |
|------|------------------|----------------------|
| 9/22 | 日本食品微生物学会（山本委員長） | 食品安全委員会の20年の歩みと今後の展望 |

（3）意見交換会等（全1回）

| 開催日 | 内容 | 対象 |
|------|------------------------------|-------|
| 8/23 | －設立20周年を迎えた食品安全委員会が開催する国際シンポ | 報道関係者 |

| | | |
|--|------------------|--|
| | ジウムの事前解説ー（山本委員長） | |
|--|------------------|--|

(4) 親子イベント（全2回）

| 開催日 | イベント名 | 共催団体 | 対象 |
|-------|----------------------|------------------------|-------|
| 8/5、6 | 「みやぎ元気まつり 2023」 | 消費者庁、厚生労働省、農林水産省、経済産業省 | 一般消費者 |
| 9/1-3 | 「GOOD LIFE フェア 2023」 | | |

4. 情報提供

(1) Facebook、ブログ

食品安全委員会の公表事項、食品安全委員会の開催結果、健康に被害を及ぼすおそれのある案件及び国民の関心が高い案件についての機動的な情報提供。

■ 7月：16 記事

閲覧数（Facebook）56,568 件/月、（ブログ）6,239 件/月

| 投稿日 | 記事内容 |
|-----|---|
| 3 | 広報誌「食品安全」第60号を公開しました 食品健康影響評価を行う案件を募集します |
| 5 | 7/4に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 暑くなる季節の食中毒予防その4：カンピロバクター食中毒に注意！ |
| 7 | 【食品安全委員会 7/3～7の公表事項】 |
| 12 | 7/11に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 |
| 14 | 【食品安全委員会 7/10～14の公表事項】 |
| 19 | 7/18に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 アスパルテームに関するQ&Aを公開しました |
| 21 | 【食品安全委員会 7/18～21の公表事項】 |
| 24 | 【食中毒について調べよう（こども霞が関見学デー特設サイト）を公開しました。】 |
| 26 | 7/25に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 |
| 28 | 【食品安全委員会 7/24～28の公表事項】 【食品安全委員会ウェブサイトにおけるトップページ等の変更について（事前のお知らせ）】 【9/1に「食品安全委員会20周年記念国際シンポジウム～リスク評価機関が今後直面する新たな課題とそれに対応するための体制整備～」を開催します】 |
| 31 | 食品の安全はどうやって守られているの？ー食品安全のしくみー【キッズボックス7月号公表】 |

■ 8月：16 記事

閲覧数（Facebook）41,861 件/月、（ブログ）3,280 件/月

| 投稿日 | 記事内容 |
|-----|-------------------------------------|
| 2 | 8/1に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 |
| 3 | 【大学、試験研究機関等に属する研究者の方向けのお知らせ】令和5年度研究 |

| | |
|----|---|
| | 事業の課題二次公募（募集締切：令和5年8月30日（水）17時） |
| 4 | 【食品安全委員会 7/31～8/4 の公表事項】 |
| 7 | 食品安全委員会の香西委員が山形県で肉の加熱調理に関する講演を実施しました（7月20日） |
| 10 | 【食品安全委員会ウェブサイトのトップページ等を変更しました】 |
| | 【食中毒について調べよう（こども霞が関見学デー特設サイト）を公開中】 |
| | 8/8に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 |
| | 【食品安全委員会 8/7～8/10 の公表事項】 |
| 14 | 令和5年度調査事業「食品により媒介される微生物等に関する食品健康影響評価に係る情報収集調査」の公告について（期間：9月12日（火）12:00まで） |
| 15 | [8/18まで参加者募集中] 20周年記念国際シンポジウム～リスク評価機関が今後直面する新たな課題とそれに対応するための体制整備～ |
| 18 | 【食品安全委員会 8/14～8/18 の公表事項】 |
| 24 | 食品安全委員会創立20周年記念コラムを掲載しています。 |
| | ウエルシュ菌食中毒に注意！ |
| 25 | 20周年記念誌「食品安全委員会の20年～日本の食品安全を守るために～」を公開しました |
| | 【食品安全委員会 8/21～8/25 の公表事項】 |
| 30 | 8/29に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 |

■ 9月：14記事

閲覧数（Facebook）18,065件/月、（ブログ）2,943件/月

| 投稿日 | 記事内容 |
|-----|---|
| 1 | 【食品安全委員会 8/28～9/1 の公表事項】 |
| 4 | 20周年記念式典及び国際シンポジウムを開催しました。 |
| 6 | 9/5に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 |
| 8 | 【食品安全委員会 9/4～9/8 の公表事項】 |
| 12 | 【大学、試験研究機関等に属する研究者の方向けのお知らせ】令和6年度研究事業の課題公募（募集締切：令和5年10月17日（火）17:00） |
| 13 | 9/12に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 |
| 15 | 【食品安全委員会 9/11～9/15 の公表事項】 |
| 20 | 9/19に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 |
| 22 | "Food Safety - The Official Journal of the Food Safety Commission of Japan" Volume 11, Issue 3 has just been published. |
| | 食品安全委員会の英文電子ジャーナル「Food Safety - The Official Journal of Food Safety Commission」Vol. 11, No. 3を公開しました。 |
| | 【食品安全委員会 9/19～9/22 の公表事項】 |
| 27 | 9/26に開催された食品安全委員会の開催結果を報告します。 |
| 28 | 食品安全委員会の山本委員長が、第44回日本食品微生物学会学術総会にて講演しました（9月21日） |
| 29 | 【食品安全委員会 9/25～9/29 の公表事項】 |

(2) X（旧 Twitter）

食中毒の防止法等、一般消費者にとって身近に関心（共感）の高いものや、タイムリーなもの、緊急性の高いものを中心に情報発信。

■ 7月：9記事

閲覧数 196,520 件/月、フォロワー 2,407 人

| 投稿日 | 記事内容 |
|-----|---|
| 3 | <p>食品安全委員会は7月1日に創立20周年を迎えました。今般、令和4年度の当委員会の活動をまとめた広報誌「食品安全」第60号をウェブサイトに公開しました。専門調査会座長インタビュー「リスク評価のリアル」や、農薬の再評価の開始などを紹介しています。是非ご覧ください。</p> <p>食品安全委員会では、自らの発意により食品健康影響評価を行うことができます。令和5年度に選定する案件について、7月31日締め切りで、評価案件を募集中です！</p> |
| 5 | <p>生や加熱不足の鶏肉はNG！カンピロバクターによる食中毒で、腹痛や下痢などの症状がでるほか、まれに後遺症が残ることも。「新鮮だから安全」は通用しません。お肉は中心部を十分に加熱（75℃で1分間以上に相当する条件）して食べましょう。</p> |
| 14 | <p>食品安全委員会20周年を振り返る松永委員執筆の連載コラム第3回は「カンピロバクターとの長い闘い」。患者数の多いカンピロバクター食中毒の主な原因は生や加熱不十分な鶏肉。新鮮だから安全、生でも食べられるは間違い。詳しくはこちらへ</p> |
| 19 | <p>甘味料のアスパルテーム。「発がん性あり？」「食品を通じて実際にとった時の健康の影響は？」気になった方は食品安全委員会が作成したQ&Aをご確認ください。#アスパルテーム #IARC #発がん性</p> |
| 24 | <p>食中毒について調べよう（こども霞が関見学デー特設ページ）を公開しました。食中毒クイズやこども向けの動画も掲載。楽しみながら食中毒や食品の安全について学べるページです。夏休みの自由研究に活用できるチェックシートもあります。#こども霞が関見学デー #食中毒</p> |
| 28 | <p>食品安全委員会ウェブサイトのトップページ等について、掲載情報をより見やすくするため、令和5年8月3日（木）16時に変更を実施しますので、予めお知らせいたします。なお、アドレス（URL）に変更はありませんので、従来のアドレスで閲覧できます。#食品安全委員会</p> <p>9月1日 #食品安全委員会 は創立20周年を記念し海外の専門家を招き「リスク評価機関が今後直面する新たな課題とそれに対応するための体制整備」のシンポジウムを開催。参加希望の方はこちら</p> |
| 31 | <p>キッズボックス7月号「食品の安全はどうやって守られているの？ー食品安全のしくみー」を公開しました。食品安全委員会が担う「リスク評価」が、私たちの毎日の食品の安全にどのように関係しているのかを考えるきっかけになればと思います。</p> |

■ 8月：6記事

閲覧数 95,021 件/月、フォロワー 2,443 人

| 投稿日 | 記事内容 |
|-----|---|
| 10 | <p>食品安全委員会ウェブサイトのトップページ等について、より見やすく掲載情報へのアクセスを分かりやすくするため、ページの変更を行いました。なお、アドレス（URL）に変更はありませんので、従来のアドレスで閲覧できます。#食品安全委員会</p> <p>#食中毒 について調べよう（#こども霞が関見学デー 特設ページ）を公開中です。食中毒に関するクイズやこども向けの動画も掲載しており、楽しみな</p> |

| | |
|----|--|
| | <p>がら食中毒や食品の安全について学べるページです。夏休みの自由研究に活用できるチェックシートもあります。</p> <p>#食品安全委員会</p> |
| 15 | <p>9月1日 #食品安全委員会 は創立 20 周年を記念し海外の専門家を招き「リスク評価機関が今後直面する新たな課題とそれに対応するための体制整備」のシンポジウムを開催。8月18日まで参加者募集中です。</p> |
| 17 | <p>食品安全委員会 20 周年を振り返る松永委員執筆の連載コラム第4回は「健康食品」は安全とは限らない?委員長らが異例の呼びかけ。健康の維持・増進には食事や運動、休養が基本とわかっている、いわゆる健康食品を手にする方必見です</p> |
| 24 | <p>まだまだ暑い日が続きます。#ウエルシュ菌 による #食中毒、#カレー や #煮物 など #加熱調理 した食品でも油断できません。作ったら速やかに食べましょう。すぐに食べないときは小分けにしてすばやく冷やし、10℃以下または55℃以上で保存しましょう。</p> |
| 25 | <p>食品安全委員会は7月1日に創立 20 周年を迎えました。そこで、当委員会の20年のあゆみや、これまで実施した食品健康影響評価の主な成果について、皆さまの食生活との関わりを考慮してまとめた「20周年記念誌」を公開しました。是非ご覧ください。</p> |

■ 9月：2記事

閲覧数 17,072 件/月、フォロワー 2,472 人

| 投稿日 | 記事内容 |
|-----|---|
| 4 | <p>食品安全委員会は、今年設立 20 周年を迎え、9月1日に記念式典と国際シンポジウムを開催。欧州食品安全機関（EFSA）、米国食品医薬品庁（FDA）、シンガポール食品庁（SFA）、経済協力開発機構 OECD）と、リスク評価をめぐる新たな課題に対応するための国際協力の強化を確認。</p> |
| 28 | <p>食品安全委員会の山本委員長は第44回日本食品微生物学会学術総会で「食品安全委員会の20年の歩みと今後の展望」について講演しました。食品安全委員会は自治体や学会等に対し、食の安全に関するセミナー等の講師派遣やリスコミを共催しています。ご関心あればご相談ください</p> |

食品健康影響評価の審議状況

2023.9.30現在

| 区分 | 諮問案件 | | | | | | 自ら評価 |
|---------------------------|---------------|--------------|------------|------------------|------------|------------------|-------------|
| | 要請件数 注1、2) | うち 令和5年度分 | 審議中 注3) | 意見 募集中 注4) | 評価終了 件数 | うち 令和5年 度分 | 評価終了 注5) |
| 添加物 | 314 | 4 | 11 | | 303 | 1 | |
| 栄養成分添加物 | 2 | | | | 2 | | |
| 香料 | 7 | | | | 7 | | |
| 農薬 | 1398 | 14 | 160 | 4 | 1234 | 14 | |
| うちポジティブリスト関係 | 545 | 1 | 130 | | 415 | 1 | |
| うち清涼飲料水 | 25 | | | | 25 | | |
| うち飼料中の残留農薬基準 | 59 | | 16 | | 43 | | |
| 動物用医薬品 | 668 | 5 | 18 | 1 | 649 | 8 | |
| うちポジティブリスト関係 | 139 | | 10 | | 129 | 3 | |
| 器具・容器包装 | 23 | 2 | 1 | | 22 | 2 | |
| 汚染物質等 | 68 | | 1 | | 67 | | 3 |
| うち清涼飲料水 | 52 | | | | 52 | | |
| 微生物・ウイルス | 22 | 1 | 1 | | 21 | | 2 |
| プリオン | 75 | 1 | 8 | 1 | 66 | | 14 |
| かび毒・自然毒 | 9 | | | | 9 | | 5 |
| 遺伝子組換え食品等 | 382 | 7 | 20 | | 362 | 3 | |
| 新開発食品 | 92 | 1 | 1 | | 91 | | 3 |
| 肥料・飼料等 | 331 | 8 | 28 | 5 | 298 | 7 | |
| うちポジティブリスト関係 | 142 | | 21 | | 121 | 1 | |
| 薬剤耐性菌 | 74 | 2 | 9 | | 65 | 3 | 1 |
| 高濃度にジアシルグリセロールを含む食品に関するWG | 1 | | | | 1 | | |
| 食品による窒息事故に関するWG | 1 | | | | 1 | | |
| 放射性物質の食品健康影響に関するWG | 2 | | | | 2 | | |
| アレルギーを含む食品に関するWG | | | | | | | 1 |
| その他(指定成分、アルミニウム等) | 2 | | | | 2 | | 1 |
| 合計 | 3471 | 45 | 258 | 11 | 3202 | 38 | 30 |

- (注) 1 リスク管理機関から、評価要請後に取り下げ申請があった場合には、その分を要請件数から減じている。
2 評価の過程で新たに審議する必要がある案件が生じた場合には、評価終了時にその案件数を要請件数に加算している。
3 「審議中」欄には、審議継続の案件のほか、今後検討を開始するものを含む。
4 「意見募集中」欄には、意見情報の募集を締め切った後に検討中のものも含む。
5 自ら評価案件については、「評価終了」の欄では、複数省庁に答申したもの、答申が複数案件となったもの等について、その数を記入しているものもある。
6 「飼料中の残留農薬基準」欄については、ポジティブリスト制度の導入に際して、飼料中の残留基準が設定された農薬についての食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件数である。
7 「薬剤耐性菌」欄には、肥飼料・微生物合同調査会(H18.3.6～H27.8.24)で審議したものも含む。

委員会の意見の聴取に関する案件の審議状況

(2023年9月30日現在)

参考2

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

| 接受日 | 要請元 | 食品健康影響評価の対象 | |
|------------|-----|--|---|
| 2003/12/8 | 農 | 薬剤耐性菌 飼料添加物として指定された抗菌性物質、動物用医薬品のうち、飼料添加物として指定されている抗菌性物質と同一又は同系統で薬剤耐性の交差が認められる抗菌性物質により選択される薬剤耐性菌※（水生動物に使用するスルホンアミド系合成抗菌剤、テトラサイクリン系抗生物質及びマクロライド系抗生物質。） | 3 |
| 2004/10/29 | 農 | 薬剤耐性菌 チアンフェニコールを有効成分とする牛及び豚の注射剤（ネオマイゾン注射液及びバシット注射液）、アンピシリンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（注射用ビクシリン） | 2 |
| 2005/2/14 | 厚 | 農薬 ジコホールー | 1 |
| 2005/8/5 | 農 | 動物用医薬品 スルファメトキサゾール及びトリメトプリムを有効成分とする豚の飲水添加剤（動物用シノラルー液） 【再審査】 ■ | 1 |
| 2005/8/5 | 農 | 薬剤耐性菌 ホスホマイシンナトリウムを有効成分とする牛の注射剤（動物用ホスミンS（静注用）） 【再審査】 ■ | 1 |
| 2005/9/13 | 厚 | 動物用医薬品 スルファメトキサゾール■ | 1 |
| 2006/7/18 | 厚 | 動物用医薬品 スルファメトキサゾール☆ | 1 |
| 2006/7/18 | 厚 | 農薬 ジコホール☆ | 1 |
| 2006/12/19 | 厚 | 農薬 フリラゾール☆ | 1 |
| 2007/1/12 | 厚 | 農薬 イマゼタピルアンモニウム塩☆、ピノキサデン☆ | 2 |
| 2007/2/6 | 厚 | 農薬 スピロキサミン☆ | 1 |
| 2007/2/6 | 厚 | 動物用医薬品 アレスリン☆、クロルマジノン☆、スルフイソゾール☆ | 3 |
| 2007/3/6 | 厚 | 農薬 トリチコナゾール☆ | 1 |
| 2007/3/20 | 厚 | 動物用医薬品 スルファジメトキシ☆、スルファモメトキシ☆ | 2 |
| 2007/6/5 | 厚 | 農薬 メソスルフロンメチル☆、スルフェントラゾン☆ | 2 |
| 2007/10/2 | 厚 | 農薬 ジクロメジン〈一部☆〉 | 2 |
| 2007/12/18 | 厚 | 農薬 クロピラリド☆、イソキサジフェンエチル☆ | 2 |
| 2008/3/11 | 厚 | 農薬 酸化プロピレン☆、プロディファコウム☆ | 2 |
| 2008/3/25 | 厚 | 農薬 イプロバリカルブ☆、スルホスルフロン☆、ピリデート☆、フッ化スルフルル☆ | 4 |
| 2008/6/3 | 厚 | 肥料・飼料等 トビシリン■ | 1 |
| 2008/7/8 | 厚 | 農薬 クロキントセットメキシル☆、クロジナホッププロパルギル☆ | 2 |
| 2008/7/8 | 厚 | 器具・容器包装 ビスフェノールAがヒトの健康に与える影響について※ | 1 |
| 2008/9/5 | 厚 | 器具・容器包装 カドミウムー | 1 |
| 2009/2/3 | 厚 | 農薬及び動物用医薬品 ホキシム☆ | 2 |

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

| 接受日 | 要請元 | 食品健康影響評価の対象 | |
|------------|-----|---|----|
| 2009/2/9 | 厚 | 農薬 エチオン☆、オキシデメトンメチル☆、ジクロラン☆、ジノカップ☆、フェンプロピモルフ☆、ベナラキシル☆、ホレート☆ | 7 |
| 2009/3/24 | 厚 | 農薬 パラチオンメチル☆ | 1 |
| 2009/3/24 | 厚 | 農薬及び動物用医薬品 ジクロルボス及びナレド☆ | 2 |
| 2010/2/16 | 厚 | 対象外物質 アスタキサンチン☆、β-アポ-8'-カロチン酸エチルエステル☆、β-カロテン☆、酒石酸☆、トウガラシ色素☆、乳酸☆<農薬用途もあり>、マリーゴールド色素☆、メナジオン☆、レチノール☆ | 10 |
| 2010/3/1 | 厚 | 農薬 フルロキシピル☆ | 1 |
| 2010/5/11 | 厚 | 農薬 クロルデン☆ | 1 |
| 2010/8/12 | 厚 | 農薬 ハロキシホップ☆ | 1 |
| 2010/9/13 | 厚 | 農薬 クロマゾン☆、トリクロピル☆ | 2 |
| 2010/9/27 | 厚 | 農薬 酸化フェンブタズ☆ | 1 |
| 2010/11/12 | 厚 | 農薬 イマザリル☆、ジフルフェンゾピル☆、ジメチピン☆、テルブホス☆、トリアスルフロン☆、パラチオン☆、ビクロゾリン☆、モノクロトホス☆ | 8 |
| 2010/11/15 | 農 | 農薬 テルブホス (飼料中) ☆ | 1 |
| 2010/12/10 | 厚 | 農薬及び動物用医薬品 クロルフェンビンホス☆、メトプレン☆ | 4 |
| 2010/12/10 | 農 | 農薬 メトプレン (飼料中) ☆ | 1 |
| 2011/1/24 | 厚 | 農薬 ペンコナゾール☆ | 1 |
| 2011/2/10 | 厚 | 農薬 エンドスルフアン☆、クロリムロンエチル☆、クロルタールジメチル☆ | 3 |
| 2011/4/19 | 厚 | 添加物 カルミン- | 1 |
| 2011/3/25 | 厚 | 農薬 エタメツルフロンメチル☆、ジスルホトン☆、ブロモキシニル☆ | 3 |
| 2011/4/25 | 農 | 農薬 ブロモキシニル (飼料中) ☆ | 1 |
| 2011/9/22 | 厚 | 農薬 EPTC☆、アミノピラリド☆、イオドスルフロンメチル☆、クロルスルフロン☆、シクロキシジム☆、ジフェンゾコート☆、テクナゼン☆、ニコスルフロン☆、マレイン酸ヒドラジド☆、メトスルフロンメチル☆ | 10 |
| 2011/10/11 | 厚 | 農薬 ジクロホップメチル☆、トリベヌロンメチル☆、ピクロラム☆、フェノキサプロップエチル☆、ブタフェナシル☆、フルオメツロン☆、アトラジン☆ | 7 |
| 2011/10/11 | 農 | 農薬 アトラジン (飼料中) ☆ | 1 |
| 2011/11/18 | 厚 | 農薬 トラルコキシジム☆、フェノキシカルブ☆、プロスルフロン☆ | 3 |
| 2011/12/19 | 厚 | プリオン 牛海綿状脳症 (BSE) 対策の見直し (オランダ) ②&※ | 1 |
| 2012/1/23 | 厚 | 農薬及び動物用医薬品 シハロトリン☆ | 2 |
| 2012/1/23 | 農 | 農薬 エチオン (飼料中) ☆、ホレート (飼料中) ☆、シハロトリン (飼料中) ☆、ジクロルボス及びナレド (飼料中) ☆ | 4 |
| 2012/1/23 | 厚 | 動物用医薬品 スルファジミジン☆ | 1 |
| 2012/3/26 | 厚 | 農薬 リムスルフロン☆ | 1 |

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

| 接受日 | 要請元 | 食品健康影響評価の対象 | |
|------------|-----|--|----|
| 2012/5/21 | 厚 | 農薬 4-クロロフェノキシ酢酸☆、トリデモルフ☆、フラムプロップメチル☆ | 3 |
| 2012/7/18 | 厚 | 農薬 テフルトリン☆ | 1 |
| 2012/8/21 | 厚 | 農薬 フサライド☆ | 1 |
| 2012/8/21 | 厚 | 農薬 フルスルファミド☆ | 1 |
| 2012/9/18 | 厚 | 農薬 メコプロップ☆ | 1 |
| 2013/1/22 | 農 | 農薬 クロルピリホスメチル（飼料中）☆、クロルフェンビンホス（飼料中）☆、シマジン（飼料中）☆、パラチオン（飼料中）☆ | 4 |
| 2013/1/30 | 厚 | 農薬 クロルピリホスメチル☆、シマジン☆ | 2 |
| 2013/3/12 | 厚 | 農薬 アイオキシニル☆、エテホン☆、オキサミル☆、カルフェントラゾンエチル☆、クロリダゾン☆、ターバシル☆、ピリミホスメチル☆、フルシトリネート☆、ホルクロルフェニユロン☆、メタミトロン☆、メチダチオン☆、レナシル☆ | 12 |
| 2013/3/13 | 農 | 農薬 ピリミホスメチル（飼料中）☆ | 1 |
| 2013/4/2 | 厚 | プリオン ポーランドから輸入される牛肉及び牛の内臓について、輸入条件の設定※ | 1 |
| 2013/6/12 | 厚 | 農薬 アラニカルブ☆、イマザキン☆、ジウロン☆、シプロコナゾール☆、ジメトエート☆、フルキンコナゾール☆ | 6 |
| 2013/6/10 | 農 | 農薬 γ-BHC（飼料中）☆、ジメトエート（飼料中）☆、メチダチオン（飼料中）☆ | 3 |
| 2011/9/22 | 厚 | 農薬 2,4-DB☆ | 1 |
| 2013/8/20 | 厚 | 農薬 DBEDC■〈一部☆〉、ノニルフェノールスルホン酸銅■〈一部☆〉、イマザモックスアンモニウム塩☆、ヒメキサゾール☆、メトリブジン☆、リニユロン☆ | 8 |
| 2013/8/20 | 厚 | 肥料・飼料等及び農薬 ジヒドロストレプトマイシン及びストレプトマイシン☆ | 2 |
| 2014/9/9 | 厚 | 農薬 ピラゾリネート☆ | 1 |
| 2015/1/8 | 厚 | プリオン スウェーデンから輸入される牛肉及び牛の内臓※ | 1 |
| 2015/5/14 | 厚 | プリオン スイス及びリヒテンシュタインから輸入される牛肉及び牛の内臓※ | 1 |
| 2015/9/30 | 厚 | プリオン イタリアから輸入される牛肉及び牛の内臓※ | 1 |
| 2015/12/18 | 厚 | プリオン 牛海綿状脳症（BSE）国内対策の見直し&※ | 1 |
| 2017/4/19 | 厚 | 農薬 ピレトリン☆ | 1 |
| 2017/8/3 | 厚 | プリオン 英国から輸入される牛、めん羊及び山羊の肉並びに内臓※ | 1 |
| 2017/11/30 | 厚 | 遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマトTU-IP105B-1（食品）■ | 1 |
| 2017/12/20 | 農 | 遺伝子組換え食品等 ミラクリン発現トマトTU-IP105B-1（飼料）■ | 1 |
| 2018/7/4 | 農 | 薬剤耐性菌 バルネムリン塩酸塩を有効成分とする豚の飼料添加剤（エコノアプレミックス1%及びエコノアプレミックス10%）※再審査■ | 1 |
| 2019/2/27 | 農 | 薬剤耐性菌 アモキシシリン水和物を有効成分とする牛及び豚の注射剤（アモスタックLA注）※再審査■ | 1 |

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

| 接受日 | 要請元 | 食品健康影響評価の対象 | |
|------------|-----|---|---|
| 2019/10/24 | 厚 | 遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性サトウキビ CTC175-A■、CA02-1191株を利用して生産されたL-グルタミン酸ナトリウム■ | 2 |
| 2020/2/13 | 厚 | 肥料・飼料等 ジニトルミド☆ | 1 |
| 2020/3/17 | 厚 | 動物用医薬品 ジブチルサクシネート☆、スルファクロルピリダジン☆、スルファジアジン☆、スルファドキシム☆、スルファモイルダプソン☆、ノルジェストメット☆ | 6 |
| 2020/3/17 | 厚 | 動物用医薬品・飼料添加物 スルファキノキサリン☆ | 1 |
| 2020/9/24 | 厚 | 遺伝子組換え食品等 Raα3114株を利用して生産されたプロテアーゼ■ | 1 |
| 2021/5/14 | 農 | 遺伝子組換え食品等 DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ (NS-B50027-4) (飼料)■ | 1 |
| 2021/5/17 | 厚 | 遺伝子組換え食品等 DHA産生及び除草剤グルホシネート耐性キャノーラ (NS-B50027-4) (食品)■ | 1 |
| 2022/3/23 | 厚 | 農薬 ヨウ化メチル■ | 1 |
| 2022/3/16 | 厚 | 遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ (DP915635) (食品)■ | 1 |
| 2022/3/15 | 農 | 遺伝子組換え食品等 コウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ (DP915635) (飼料)■ | 1 |
| 2022/4/21 | 厚 | 農薬及び動物用医薬品 シペルメトリン■ | 1 |
| 2022/6/15 | 農 | 薬剤耐性菌 アミノグリコシド系抗生物質が動物用医薬品として家畜に投与された場合に選択される薬剤耐性菌※ | 1 |
| 2022/8/23 | 厚 | 添加物 亜硫酸ナトリウム■、次亜硫酸ナトリウム■、二酸化硫黄■、ピロ亜硫酸カリウム■、ピロ亜硫酸ナトリウム■ | 5 |
| 2022/8/24 | 厚 | 農薬 イミシアホス■ | 1 |
| 2022/9/27 | 厚 | 遺伝子組換え食品等 JPAo010株を利用して生産されたポリフェノールオキシダーゼ■ | 1 |
| 2022/12/1 | 厚 | 添加物 亜塩素酸水■ | 1 |
| 2022/12/14 | 厚 | 農薬 チオジカルブ及びメソミル☆ | 1 |
| 2022/12/14 | 厚 | 農薬及び動物用医薬品 イミダクロプリド■、クロチアニジン■、ピペロニルブトキシド☆ | 6 |
| 2022/12/14 | 厚 | 動物用医薬品 プラレトリン■ | 1 |
| 2022/12/14 | 農 | 農薬 1,3-ジクロロプロペン※、アセタミプリド※、イミダクロプリド※、クロチアニジン※、ジノテフラン※、チアメトキサム※ | 6 |
| 2022/12/14 | 農 | 動物用医薬品 クロチアニジンとd-d-T80-プラレトリンを有効成分とする畜舎噴霧剤 (ヌーベルショット、トリプルアクセル)■ | 1 |
| 2023/1/10 | 厚 | 遺伝子組換え食品等 Trichoderma reesei RF6197株を使用して生産されたペクチナーゼ■、Trichoderma reesei RF6201株を使用して生産されたペクチナーゼ■ | 2 |
| 2023/1/25 | 農 | 農薬 グリホサート※ | 1 |
| 2023/3/9 | 厚 | 農薬 発芽スイートルーピン抽出たんぱく質■ | 1 |
| 2023/3/9 | 厚 | 農薬及び動物用医薬品 ブロフラニリド■ | 2 |

I 専門調査会において検討中、または今後検討を開始するもの

| 接受日 | 要請元 | 食品健康影響評価の対象 | |
|-----------|-----|---|---|
| 2023/3/8 | 厚 | 動物用医薬品 フェノキシエタノール■ | 1 |
| 2023/3/8 | 農 | 動物用医薬品 フェノキシエタノールを有効成分とするすずき目魚類の薬浴剤（製剤名：バイオネンネ）■、プロフラニドを有効成分とする鶏舎噴霧剤（リブケアFL）■ | 2 |
| 2023/3/22 | 農 | 農薬 エスプロカルブ※、フェンメディファム※、フサライド※ | 3 |
| 2023/3/7 | 農 | 遺伝子組換え食品等 JPAo012株から生産されたフィターゼー | 1 |
| 2023/3/29 | 消 | 新開発食品 健康茶 血糖値対策500※■ | 1 |
| 2023/5/24 | 厚 | 農薬及び動物用医薬品 フェニトロチオン■ | 1 |
| 2023/5/22 | 厚 | 遺伝子組換え食品等 JPAo011株を利用して生産されたホスホリパーゼ | 1 |
| 2023/5/30 | 厚 | 添加物 メチルセルロース■、カルボキシメチルセルロースカルシウムー、カルボキシメチルセルロースナトリウムー、デンプングリコール酸ナトリウムー | 4 |
| 2023/6/28 | 厚 | プリオン ベルギーから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓について※ | 1 |
| 2023/7/3 | 厚 | 遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ（DAS1131）■ | 1 |
| 2023/7/4 | 農 | 遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グリホサート耐性トウモロコシ（DAS1131）■、JPBL011株を利用して生産されたα-アミラーゼ■ | 2 |
| 2023/7/13 | 厚 | 農薬 アセフェート■、キノフメリン■、ホスチアゼート■、メタミドホス■ | 4 |
| 2023/7/13 | 厚 | 肥料・飼料等 2-デアミノ-2-ヒドロキシメチオニンイソプロピルエステルを飼料添加物として使用した家畜に由来する食品の安全性&※ | 1 |
| 2023/7/12 | 農 | 肥料・飼料等 2-デアミノ-2-ヒドロキシメチオニンイソプロピルエステル■ | 1 |
| 2023/8/22 | 厚 | 遺伝子組換え食品等 JPAo006株を利用して生産されたリパーゼ■、チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP910521）■、 | 2 |
| 2023/8/22 | 農 | 遺伝子組換え食品等 チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ（DP910521）■ | 1 |
| 2023/8/30 | 厚 | 肥料・飼料等 アナカルド酸■ | 1 |
| 2023/8/31 | 厚 | 農薬 カルタップ、チオシクラム及びベンスルタップ■、ジアフェンチウロン（一部☆）、フェンプロピジン■、プロプロフェジン■ | 4 |
| 2023/8/30 | 農 | 肥料・飼料等 カシューナッツ殻液■ | 1 |
| 2023/8/31 | 厚 | 微生物・ウイルス 乳及び乳製品の成分規格等に関する省令（昭和26年厚生省令第52号）の改正について（摂氏10度以下での保存を要しない製品に係る規格基準）ー | 1 |
| - | - | 有機フッ素化合物（PFAS）◎ | 1 |

（注）

ー：食品安全基本法第24条第1項案件（企業申請を含まない。）

☆：ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件

※：食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件

■：食品安全基本法第24条第1項に基づく意見聴取案件かつ企業申請案件（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）

◎：食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価案件

Ⅱ 専門調査会における審議結果（案）について意見募集を行っているもの

| 募集期間 | 対象となる審議結果（案） | |
|----------------------|--|---|
| 2023/9/27～2023/10/26 | プリオン ドイツから輸入される牛、めん羊及び山羊の肉及び内臓※ | 1 |
| 2023/8/30～2023/9/28 | 農薬 チオベンカルブ※、チフルザミド※、ブタクロール※ | 3 |
| 2023/9/20～2023/10/19 | 動物用医薬品 ツラスロマイシン及びケトプロフェンを有効成分とする牛の注射剤（ドラクシンKP）■ | 2 |
| 2023/8/30～2023/9/28 | 農薬 イソチアニル※ | 1 |
| 2023/8/30～2023/9/28 | 肥料・飼料等 3-ニトロオキシプロパノール■、 3-ニトロオキシプロパノールを有効成分とする飼料添加物■ | 2 |
| 2023/9/6～2023/10/5 | 動物用医薬品 マルボフロキサシンを有効成分とする豚の注射剤（フォーシルS）■ | 1 |
| 2023/8/30～2023/9/28 | 動物用医薬品 タイロシン■ | 1 |

11

（注）

- －：食品安全基本法第24条第1項案件（企業申請を含まない。）
- ☆：ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件
- ※：食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件
- ：食品安全基本法第24条第1項に基づく意見聴取案件かつ企業申請案件（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）
- ◎：食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価案件

Ⅲ 食品安全委員会において既に食品健康影響評価を終了したもの

| 通知日 | 通知先 | 食品健康影響評価の対象 | |
|-----------|-----|---|---|
| 2023/7/6 | 厚 | 農薬及び動物用医薬品 エマメクチン安息香酸塩☆ | 2 |
| 2023/7/12 | 厚 | 動物用医薬品 ヒドロコルチゾン☆ | 1 |
| 2023/7/12 | 厚 | 農薬 プロチオホス■ | 1 |
| 2023/8/1 | 農 | 薬剤耐性菌 ツラスロマイシン及びケトプロフェンを有効成分とする牛の注射剤（ドラクシンKP）■ | 1 |
| 2023/8/1 | 厚 | 農薬 イソピラザム■ | 1 |
| 2023/8/1 | 厚 | 農薬 プロシミドン■ | 1 |
| 2023/7/20 | 厚 | 農薬 フロニカミド■ | 1 |
| 2023/7/20 | 厚 | 農薬 ポリオキシシンD亜鉛塩■ | 1 |
| 2023/7/5 | 農 | 肥料・飼料等 ムラミダーゼー | 1 |
| 2023/7/25 | 農 | 薬剤耐性菌 マルボフロキサシンを有効成分とする豚の注射剤（フォーシルS）■ | 1 |
| 2023/8/10 | 農 | 動物用医薬品 牛伝染性鼻気管炎・牛ウイルス性下痢2価・牛パラインフルエンザ・牛RSウイルス感染症・牛アデノウイルス感染症混合生ワクチン（“京都微研”カーフウィン6）■ | 1 |
| 2023/9/15 | 厚 | 農薬及び動物用医薬品 シフルトリンー | 2 |
| 2023/9/8 | 厚 | 動物用医薬品 モサプリドー | 1 |
| 2023/9/20 | 農 | 動物用医薬品 アセトアミノフェンを有効成分とする豚の経口投与剤（アレンジャー30）■ | 1 |
| 2023/9/20 | 農 | 動物用医薬品 アセトアミノフェンを有効成分とする豚の経口投与剤（ピレキシン10%）■ | 1 |

（注）

ー：食品安全基本法第24条第1項案件（企業申請を含まない。）

☆：ポジティブリスト制度に伴う食品安全基本法第24条第2項に基づく意見聴取案件

※：食品安全基本法第24条第3項に基づく意見聴取案件

■：食品安全基本法第24条第1項に基づく意見聴取案件かつ企業申請案件（平成22年1月1日以降委員会において説明したもののみ）

◎：食品安全基本法第23条第1項第2号による自ら評価案件

IV その他

| 通知日 | 通知先 | 件名 |
|------------|-------|---|
| 2004/1/30 | 厚・農・環 | 遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準 遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方 |
| 2004/3/18 | 農 | 普通肥料の公定規格に関する食品健康影響評価の考え方 |
| 2004/3/25 | 厚・農・環 | 遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の安全性評価基準 |
| 2004/5/6 | 厚・農・環 | 遺伝子組換え飼料及び飼料添加物の安全性評価の考え方 |
| 2004/8/5 | 厚・農 | 特定保健用食品の安全性評価に関する基本的考え方 |
| 2004/9/30 | 農 | 家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針 |
| 2005/4/28 | 厚・農・環 | 遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物のうち、アミノ酸等の最終産物が高度に精製された非タンパク質性添加物の安全性評価の考え方 |
| 2006/6/29 | 厚・農 | 暫定基準が設定された農薬等の食品健康影響評価の実施手順 |
| 2007/9/13 | 厚・農 | 食品により媒介される微生物に関する食品健康影響評価指針（暫定版） |
| 2008/6/26 | 厚・農・環 | 遺伝子組換え食品（微生物）の安全性評価基準 |
| 2010/5/27 | 厚 | 添加物に関する食品健康影響評価指針 |
| 2016/5/17 | 厚 | 香料に関する食品健康影響評価指針 |
| 2017/7/18 | 厚 | 添加物に関する食品健康影響評価指針（改正） 栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針 添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針 |
| 2018/4/10 | 厚・農 | 動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針 |
| 2018/9/25 | 厚・農 | 飼料添加物に関する食品健康影響評価指針 動物用医薬品に関する食品健康影響評価指針（改訂） |
| 2019/5/28 | 厚 | 食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針 |
| 2019/10/1 | 厚・農 | 残留農薬に関する食品健康影響評価指針 |
| 2019/10/29 | 厚・農 | 食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針 |
| 2019/11/13 | 厚・農 | 遺伝子組換え植物の掛け合わせについての安全性評価の考え方 |
| 2020/3/24 | 厚・農 | 食品安全委員会専門調査会等運営規定 改正 |
| 2020/6/16 | 厚・農 | 残留農薬の食品健康影響評価におけるコリンエステラーゼ阻害作用を有する農薬の取扱いについて |
| 2020/7/7 | 厚・農 | 暫定基準が設定された動物用医薬品及び飼料添加物に係る食品健康影響評価の考え方について |
| 2020/10/6 | 厚 | 食品用器具及び容器包装に関する食品健康影響評価指針（改訂） |
| 2021/4/6 | 厚・農 | 残留農薬に関する食品健康影響評価指針（改訂） |
| 2021/5/18 | 厚・農 | 飼料添加物に関する食品健康影響評価指針 |
| 2021/9/29 | 厚 | 添加物に関する食品健康影響評価指針（改正） 香料に関する食品健康影響評価指針（改正） 添加物（酵素）に関する食品健康影響評価指針（改正） 栄養成分関連添加物に関する食品健康影響評価指針（改正） |
| 2022/3/22 | 農 | 家畜等への抗菌性物質の使用により選択される薬剤耐性菌の食品健康影響に関する評価指針の一部改正 食品を介してヒトの健康に影響を及ぼす細菌に対する抗菌性物質の重要度のランク付けについての一部改正 |
| 2022/6/21 | 厚・農 | 食品により媒介される微生物等に関する食品健康影響評価指針（改正） |
| 2023/9/12 | 厚・農 | 食品健康影響評価におけるベンチマークドーズ法の活用に関する指針〔動物試験で得られた用量反応データへの適用〕（改正） |